

# アンケート集計結果のポイント

## I. 小・中学生のスポーツの現状について（P 1～）

- 【P2】前回調査に比べメディア等を見る時間が増加しています。【P5】1日当たりのスポーツ時間も短時間での実施が増加しています。【P11】eスポーツについても4分の1が行っており、インターネット等の普及により、生活リズムに変化が生じていることがうかがえます。
- 【P8-10】前回調査同様、現在行っている種目と進学後に行いたい種目にバラツキが見られるなど、現状とニーズがマッチしているとは言い難い結果となっています。今後の部活動のあり方も含め検討する必要があると思われます。
- 【P13・14】市内で開催して欲しいスポーツイベントについては、多くの要望がありました。プロの試合観戦や一流選手の教室等の交流を求める声が多くありました。
- 【P15】国民スポーツ大会については、まだまだ認知率が低く、今後の情報発信が必要と思われます。参加の仕方については、ボランティアとしての参加希望が一番多く、小学生においては、約4人に一人が選手としての参加を希望しています。

## II. スポーツ少年団の現状について（P 18～）

- 【P18】スポーツ少年団の団数及び団員数は減少傾向が続いています。
- 【P19】前回に比べ1週間の活動日数が増加していますが、1日あたりの活動時間は減少しています。
- 【P20】問題点や課題は、前回同様少子化の影響により団員が減少しているという声をもっとも多く、今後、ますます団や団員が減少していくことが危惧されます。
- 【P22】国民スポーツ大会については、期待すること、実施すべきことともに施設整備が一番多い回答でした。
- 【P23】スポーツ振興による効果については、子どもの体力の向上や青少年の健全育成を期待する声が多くありました。

## III. スポーツ少年団指導者の現状について（P 25～）

- 【P25】前回調査に比べ女性の指導者の比率は増加していますが、男性の比率が多く、年齢は30代が減少し、50歳代以上が増加しており、全体的に年齢が上がってきていることが伺えます。
- 【P26】指導者の指導経験については、5～10年未満が大幅に減少し、20年以上が大幅に増加しています。世代交替が進んでいないことがうかがえます。

## IV. スポーツ少年団保護者の現状について（今回初めて調査を実施）（P 33～）

- 【P33・34】多くの保護者が活動に満足しており、年間費用についても8割が適正と思われる事がわかりました。
- 【P34】スポーツ少年団において、友人作りやコミュニケーション能力の養成、礼儀正しく挨拶のできるようになることを期待する回答が多くありました。
- 【P36】国民スポーツ大会については、地域活性化を期待し、施設整備や選手強化が重要とする回答が多くありました。
- 【P37】スポーツ振興については、指導者の養成・派遣やスポーツ人口の拡大を重要とし、子どもの体力向上を期待する回答が多くありました。

## V. 学校部活動の現状について（P 39～）

- 【P40】1校平均の部活種目数は前回同様ですが、運動部活動の加入率が減少しています。
- 【P8・39・40】小学校6年生のアンケートで進学後に人気の高かった上位5種目のうち2種目（バドミントン、ダンス）は、市内中学校に部活動が無く、今後は、部活動種目の見直しや地域での受け皿づくりなどの体制強化が求められていると思われます。
- 【P40・41】指導者について、多くの種目で競技経験のある担当教諭の比率が増加していますが、外部指導者の比率はまちまちです。国の部活動改革の考え方も踏まえ地域での受け皿体制の強化などが必要になってくると思われます。
- 【P44】国民スポーツ大会については、競技力向上を期待し、選手強化、指導者育成や施設整備が重要とする回答が多くありました。

## VI. 出雲市体育協会（支部及び地区体協）の現状について（P 46～）

- 【P47】選手の取りまとめが一番の問題となっています。また、世代交代が進んでいない団体が多くあり、前回よりも増加しています。体制の見直しを検討する必要があると思われます。
- 【P49】全市を対象としたスポーツ大会の開催については、6割の団体が開催に否定的であり、その要因として選手選考や、負担増との回答が多くを占めました。
- 【P51】国民スポーツ大会については、県民（市民）の一体感や、地域活性化に期待し、施設整備や指導者育成が重要とする回答が多くありました。
- 【P51・52】スポーツ振興については、既存施設の整備・有効活用、スポーツ人口拡大のための積極的な取組が重要であり、地域コミュニティの形成・活性化や市民の健康増進に効果があるとの回答が多くを占めました。

## VII. 出雲市体育協会（加盟種目団体）の現状について（P 53～）

- 【P53】学校との連携においては、団体指導者が指導する率が大きく増加しています。部活動の外部指導者の導入が進んでいると思われます。
- 【P54】問題点として会員の減少や世代交代が進んでいないなどに多くの回答があり、前回よりも増加しています。
- 【P56】国民スポーツ大会については、施設整備や競技力の向上、地域活性化に期待し、施設整備や選手強化が重要とする回答が多くありました。
- 【P57】スポーツ振興については、既存施設の整備・有効活用、スポーツ人口拡大のための積極的な取組が重要であり、市民の健康増進や子どもの体力向上に効果があるとの回答が多くありました。

## VIII. 出雲市スポーツ推進委員の現状について（P 59～）

- 【P61・62】国民スポーツ大会については、施設整備や県民（市民）の一体感に期待し、施設整備や指導者育成が重要とする回答が多くあり、ボランティアとしての参加を希望する回答が多くありました。
- 【P64・65】学校との連携・協力を行っているとの回答が5割を超えていますが、問題点として、日程調整の難しさをあげる声がありました。
- 【P66】スポーツ振興については、既存施設の整備・有効活用や施設利用料の軽減、スポーツ人口拡大のための積極的な取組が重要であり、地域コミュニティの形成・活性化や市民の健康増進に効果があるとの回答が多くを占めました。

#### IX. 総合型地域スポーツクラブの現状について（P 6 8～）

- 【P69】学校との連携・協力した活動について、前回より学校施設を利用している団体が増加し、連携していない団体が減少しています。連携が進んでいると思われます。
- 【P70】クラブ運営上の問題点としては、会員の減少や行政等の支援が少ないとの回答が多くをありました。
- 【P71】国民スポーツ大会については、期待すること実施すべきことともに、施設整備とする回答が一番多くありました。
- 【P71・72】市のスポーツ環境については、全ての団体が充実していないとの回答であり、利便性を求める声が多くありました。
- 【P72・73】スポーツ振興については、既存施設の整備・有効活用、スポーツ情報ネットワークの整備・充実が重要であり、地域コミュニティの形成・活性化や高齢者の生きがづくり、市民の健康増進に効果があるとの回答が多くありました。

#### X. 一般市民の現状について（今回初めて調査を実施）（P 7 4～）

- 【P74・75】運動・スポーツの実施率は40.8%であり、実施種目ではウォーキングが約4割となっていますが、多種多様なスポーツが実施されていることがわかりました。
- 【P77・78】実施頻度は、週1・2日が一番多く、実施時間は、平日、土日とも1時間未満が一番多い回答でした。
- 【P79】スポーツをしない人の理由は、時間が無いからが一番多く3割弱となっています。
- 【P79】eスポーツについては、約6割の人が知っていますが、実施している人は4.8%となっています。
- 【P84・85】国民スポーツ大会については、地域活性化に期待し、施設整備や選手強化が重要とする回答が多くあり、関わり方については、関わりたくないとの回答が一番多くありました。
- 【P89-92】スポーツ振興については、既存施設の整備・有効活用やスポーツ人口拡大のための積極的な取組が重要であり、市民の健康増進や地域コミュニティの形成・活性化に効果があるとの回答が多くありました。

#### XI. 市内スポーツ施設管理者の現状について（P 9 3～）

- 【P93-95】施設管理上の問題点として、施設の老朽化に伴う修繕に関する項目が多く、施設利用者からの改善要望にも同様な声があります。適正な管理運営が求められています。
- 【P94】施設管理での工夫については、誰もが利用しやすいよう、それぞれの施設の特徴に合わせ様々な工夫を実施されていることがうかがえます。

#### XII. 県内他市及び交流市の現状について（P 9 7～）

- 【P97】小・中学生への派遣費補助を行っているのは、出雲市以外では江津市と浜田市のみとなっています。
- 【P97】激励金制度については、全ての市で行っています。
- 【P97-99】全体的に激励金制度で一律の金額を補助する傾向となっています。安来市、松江市、益田市、津山市においては、全年代で統一の制度となっています。